

第14回日本小児医療政策研究会

我が国のこどもの健康、小児医療のより良い政策を求めて

日時：平成30年4月7日(土) 13:00～18:00

会場：東京慈恵会医科大学 大学2号館講堂

世話人：廣瀬伸一(福岡大学小児科教授)

市川光太郎(北九州市立八幡病院院長)

参加費
無料
(どなたでも
参加できます)

■プログラム■

◆13:00～13:10

世話人挨拶 廣瀬伸一(福岡大学教授、国際小児科学会常任理事)
挨拶 高橋孝雄(日本小児科学会会長)
代表幹事挨拶 衛藤義勝(東京慈恵会医科大学名誉教授)

◆13:10～13:30 特別講演Ⅰ 司会 衛藤義勝(東京慈恵会医科大学名誉教授)
我が国の健全なこどもの育成に向けて
加藤勝信(厚生労働大臣)

◆13:30～14:10 特別講演Ⅱ

(1) 最近の母子保健行政の動きについて 司会 高橋孝雄(慶應義塾大学小児科教授)
北澤潤(厚生労働省子ども家庭局母子保健課長)
(2) 保育体制、待機児童の問題 司会 岡明(東京大学小児科教授)
巽慎一(厚生労働省子ども家庭局保育課長)

◆14:10～16:00 ワークショップ(I) 我が国の保育環境は大丈夫か?

座長 江原伯陽(エバラこどもクリニック院長)
廣瀬伸一(福岡大学教授、国際小児科学会常任理事)

- ①保育現場での課題
折井誠司(誠美保育園園長、東京都社会福祉協議会保育部会副会長)
- ②保育園児の死亡事例検証報告から
秋山千枝子(あきやま子どもクリニック、日本小児保健学会会長)
- ③母子保健からみる保育環境
大木幸子(杏林大学保健学部教授)
- ④医療的ケア児の保育
駒崎弘樹(認定NPO法人フローレンス代表理事)
- ⑤パネルディスカッション

16:00～16:10 休憩

◆16:10～18:10 ワークショップ(II)

我が国の小児救急医療は大丈夫か?～家庭看護力醸成からPICU体制まで～

座長 有賀徹
(独立行政法人労働者健康安全機構理事、学校法人昭和大学名誉教授)
市川光太郎(北九州市立八幡病院院長)

- ①病院前救護の原点として家庭看護力醸成へ
市川光太郎(北九州市立八幡病院院長)
- ②小児一次～二次救急医療体制の地域格差と今後の課題
船曳哲典(藤沢市民病院こども診療センター長)
- ③成人救命救急医療と連携強化に向けて
西山和孝(諏訪赤十字病院救急科部長)
- ④PICUの現状と課題
清水直樹(東京都立小児総合医療センター 集中治療科医長)
- ⑤パネルディスカッション

◆18:10～18:50 特別講演Ⅲ 司会 山城雄一郎(順天堂大学特任教授)

米国の救急医療—Critical Careの体制—スタンフォード大学病院の体制
Prof. David Cornfield(スタンフォード大学小児科教授)

◆18:50～19:00

総括&閉会の挨拶 市川光太郎(北九州市立八幡病院院長)

主催：日本小児医療政策研究会

後援：日本小児科学会、日本小児保健協会、こども難病ネットワーク、NPO法人日本小児医療政策研究センター

事務局(連絡先)：財)脳神経疾患研究所附属先端医療研究センター&遺伝病治療研究所

〒215-0026 神奈川県川崎市麻生区古沢都古 255 Tel:044-322-9991(内線 3229)

